



## 2025年11月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年10月1日

上場会社名 日本フィルコン株式会社

上場取引所 東

コード番号 5942

URL https://www.filcon.co.jp/

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 名倉 宏之

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理・

(氏名) 齋藤 芳治

(TEL) 042-377-5711

経営企画管掌兼

経営企画室長

配当支払開始予定日

—

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2025年11月期第3四半期の連結業績(2024年12月1日~2025年8月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年11月期第3四半期	20,116	△7.4	552	△26.6	697	△25.2	620	△15.2
2024年11月期第3四半期	21,729	4.7	753	41.3	933	10.8	731	△42.5

(注) 包括利益 2025年11月期第3四半期 984百万円(△6.1%) 2024年11月期第3四半期 1,047百万円(△12.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年11月期第3四半期	32.01	—
2024年11月期第3四半期	37.18	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年11月期第3四半期	42,650	23,249	53.7
2024年11月期	43,219	23,259	52.8

(参考) 自己資本 2025年11月期第3四半期 22,906百万円 2024年11月期 22,824百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年11月期	—	13.00	—	15.00	28.00
2025年11月期	—	14.00	—	—	—
2025年11月期(予想)	—	—	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2025年11月期の連結業績予想(2024年12月1日~2025年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,300	△4.7	600	△35.1	850	△24.8	200	△67.9	10.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年11月期3Q	22,167,211株	2024年11月期	22,167,211株
2025年11月期3Q	2,791,395株	2024年11月期	2,460,195株
2025年11月期3Q	19,373,091株	2024年11月期3Q	19,665,560株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注)期末自己株式数には、従業員持株ESOP信託が保有している当社株式(2025年11月期第3四半期125,000株、2024年11月期272,800株)を含めております。また、従業員持株ESOP信託が保有している当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式を含めております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の基準に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(会計方針の変更) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

## (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、物価の上昇が続き、個人消費や設備投資が停滞している状況となっております。海外経済は通商政策などアメリカの政策動向による影響が大きく、先行き不透明な状況が継続しております。

このような状況下、当社グループの当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は20,116百万円（前年同期比7.4%減）、営業利益は552百万円（前年同期比26.6%減）、経常利益は697百万円（前年同期比25.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は620百万円（前年同期比15.2%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ①産業用機能フィルター・コンベア事業

産業用機能フィルター・コンベア事業は、以下の分野で構成されております。

製紙製品分野	紙を抄くために使われる網(ワイヤー)の製造・販売
その他産業用フィルター・コンベア分野	「ふるい分け」・「ろ過」・「搬送」用の工業用金網の製造・販売

製紙製品分野では、国内は紙の需要が減少するなか、製紙会社の生産能力削減の動きも顕著になっております。海外は板紙や衛生紙、不織布などの需要は堅調ですが、特に欧州で景気後退による需要減少が継続しております。このような状況下、国内および海外の売上高は前年同期と比べ減少いたしました。

その他産業用フィルター・コンベア分野では、国内は需要が堅調であり、売上高は前年同期並みとなりました。海外は主に円高豪ドル安が進行した影響で、売上高は前年同期と比べ減少いたしました。

結果、当セグメントの外部顧客への売上高は14,601百万円（前年同期比4.2%減）、営業利益は人件費や製造費の上昇の影響もあり728百万円（前年同期比21.9%減）となりました。

## ②電子部材・フォトマスク事業

電子部材・フォトマスク事業は、以下の分野で構成されております。

エッチング加工製品分野	金属材料・複合フィルム材料をエッチング加工した製品の製造・販売
フォトマスク製品分野	半導体・ディスプレイ・プリント基板・MEMSなどを製造するときに使用されるツールで、パターンニングの原版となるフォトマスクの製造・販売

電子部品業界は、AI関連の最先端製品の需要は旺盛であります。が、車載や産業機械向けの需要は軟調となっております。

そのような状況下、エッチング加工製品分野につきましては、新規量産案件の獲得に向け努めておりますが、試作から量産に至るまでに時間を要しており、売上高は前年同期と比べ減少いたしました。フォトマスク製品分野は通信デバイス向けなどが好調であり、売上高は前年同期と比べ増加いたしました。

結果、当セグメントの外部顧客への売上高は3,320百万円（前年同期比3.3%増）、営業利益は製造経費が増加したことにより245百万円（前年同期比38.1%減）となりました。

③環境・水処理関連事業

環境・水処理関連事業は、プールおよびろ過装置の設計・販売、天然ガスパイプラインの腐食・ガス漏れを防ぐ絶縁継手の販売などを行っております。

前期まで不採算の案件を抱えており、新たな大型案件の受注については慎重に検討し控えていた影響により、当第3四半期連結累計期間の外部顧客への売上高は1,421百万円（前年同期比42.9%減）、営業損失は36百万円（前年同期営業損失116百万円）となりました。

④不動産賃貸事業

不動産賃貸事業では、当社が保有する不動産を、店舗・マンション・駐車場等として賃貸しております。

既存の賃貸物件が順調に稼働した結果、当セグメントの外部顧客への売上高は773百万円（前年同期比0.2%減）、営業利益は584百万円（前年同期比1.5%減）となりました。

（注）各セグメントの営業利益の合計額と連結業績における営業利益との差異969百万円（前年同期比8.0%減）は、主として各セグメントに配分していない全社費用であります。

（2）当四半期の財政状態の概況

流動資産は、前連結会計年度末に比べ837百万円減少し、20,603百万円となりました。これは主として、受取手形、売掛金及び契約資産が818百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ267百万円増加し、22,046百万円となりました。これは主として、有形固定資産その他に含まれる建設仮勘定が331百万円減少した一方で、機械装置及び運搬具が643百万円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ569百万円減少し、42,650百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ913百万円減少し、13,110百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が586百万円、短期借入金が221百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ353百万円増加し、6,289百万円となりました。これは主として、長期借入金415百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ560百万円減少し、19,400百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ9百万円減少し、23,249百万円となりました。これは主として、その他有価証券評価差額金が184百万円、為替換算調整勘定が193百万円それぞれ増加した一方で、資本剰余金が131百万円減少、自己株式が174百万円増加したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年11月期の連結業績予想につきましては、2025年1月10日公表の業績予想から変更しております。なお、詳細につきましては、本日公表いたしました「2025年11月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,895,842	4,770,286
受取手形、売掛金及び契約資産	8,865,983	8,047,198
商品及び製品	3,975,102	3,885,916
仕掛品	1,274,410	1,359,808
原材料及び貯蔵品	1,830,352	1,837,684
その他	679,007	777,375
貸倒引当金	△79,431	△74,428
流動資産合計	21,441,266	20,603,840
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,692,884	5,543,859
機械装置及び運搬具（純額）	3,517,063	4,160,092
土地	4,347,020	4,331,705
その他（純額）	1,291,092	961,375
有形固定資産合計	14,848,061	14,997,032
無形固定資産		
のれん	228,990	189,826
その他	275,744	269,452
無形固定資産合計	504,734	459,278
投資その他の資産		
投資有価証券	2,866,104	3,099,248
リース投資資産	360,995	345,661
その他	3,201,507	3,149,546
貸倒引当金	△3,034	△4,402
投資その他の資産合計	6,425,573	6,590,054
固定資産合計	21,778,369	22,046,365
資産合計	43,219,636	42,650,206

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年11月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,866,179	3,279,791
短期借入金	5,862,929	5,641,280
1年内返済予定の長期借入金	1,638,049	1,773,862
未払法人税等	170,180	136,909
賞与引当金	36,582	209,299
環境対策引当金	4,020	4,020
工事損失引当金	2,510	—
その他	2,443,586	2,065,209
流動負債合計	14,024,036	13,110,373
固定負債		
長期借入金	3,529,505	3,945,082
退職給付に係る負債	220,079	223,669
長期預り敷金保証金	969,389	950,640
資産除去債務	89,342	89,430
その他	1,127,940	1,081,098
固定負債合計	5,936,257	6,289,920
負債合計	19,960,294	19,400,294
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,685,582	2,685,582
資本剰余金	1,914,729	1,782,749
利益剰余金	16,450,722	16,498,052
自己株式	△1,235,349	△1,410,095
株主資本合計	19,815,684	19,556,288
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	323,549	507,750
為替換算調整勘定	2,232,312	2,426,236
退職給付に係る調整累計額	453,252	416,125
その他の包括利益累計額合計	3,009,114	3,350,112
非支配株主持分	434,542	343,511
純資産合計	23,259,341	23,249,911
負債純資産合計	43,219,636	42,650,206

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)
売上高	21,729,411	20,116,395
売上原価	14,213,415	13,083,886
売上総利益	7,515,996	7,032,508
販売費及び一般管理費	6,762,842	6,480,019
営業利益	753,153	552,488
営業外収益		
受取利息	11,247	8,192
受取配当金	34,218	41,637
持分法による投資利益	164,273	137,428
その他	159,594	146,939
営業外収益合計	369,332	334,197
営業外費用		
支払利息	82,150	107,771
その他	107,322	80,925
営業外費用合計	189,473	188,696
経常利益	933,013	697,990
特別利益		
固定資産売却益	—	281,669
投資有価証券売却益	515,194	—
関係会社株式売却益	—	208,137
特別利益合計	515,194	489,807
特別損失		
減損損失	203,898	149,738
特別損失合計	203,898	149,738
税金等調整前四半期純利益	1,244,309	1,038,058
法人税等	438,721	375,459
四半期純利益	805,588	662,599
非支配株主に帰属する四半期純利益	74,505	42,560
親会社株主に帰属する四半期純利益	731,082	620,039

## 四半期連結包括利益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)
四半期純利益	805,588	662,599
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△318,353	184,200
為替換算調整勘定	528,845	35,066
退職給付に係る調整額	△51,840	△37,127
持分法適用会社に対する持分相当額	83,500	139,426
その他の包括利益合計	242,151	321,565
四半期包括利益	1,047,739	984,164
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	943,348	961,037
非支配株主に係る四半期包括利益	104,390	23,127

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	産業用機能 フィルター・ コンベア事業	電子部材・ フォト マスク事業	環境・水処理 関連事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高							
一時点で移転される財	15,249,051	3,214,528	1,235,728	—	19,699,309	—	19,699,309
一定の期間にわたり移 転される財	—	—	1,255,112	—	1,255,112	—	1,255,112
顧客との契約から生じ る収益	15,249,051	3,214,528	2,490,841	—	20,954,422	—	20,954,422
その他の収益(注3)	—	—	—	774,989	774,989	—	774,989
外部顧客への売上高	15,249,051	3,214,528	2,490,841	774,989	21,729,411	—	21,729,411
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2,936	786	9,000	12,722	△12,722	—
計	15,249,051	3,217,464	2,491,627	783,989	21,742,133	△12,722	21,729,411
セグメント利益又は損 失(△)	932,917	397,050	△116,108	593,413	1,807,272	△1,054,119	753,153

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,054,119千円は、内部取引にかかわる調整額△9,613千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,044,505千円であります。全社費用は、当社の本社部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入等であります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「電子部材・フォトマスク事業」セグメント及び各報告セグメントに配分していない全社資産セグメントにおいて、将来の回収可能性を検討した結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては「電子部材・フォトマスク事業」セグメントにて203,786千円、各報告セグメントに配分していない全社資産にて111千円であります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	産業用機能 フィルター・ コンベア事業	電子部材・ フォト マスク事業	環境・水処理 関連事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高							
一時点で移転される財	14,601,389	3,320,269	1,193,396	—	19,115,054	—	19,115,054
一定の期間にわたり移 転される財	—	—	227,946	—	227,946	—	227,946
顧客との契約から生じ る収益	14,601,389	3,320,269	1,421,343	—	19,343,001	—	19,343,001
その他の収益(注3)	—	—	—	773,393	773,393	—	773,393
外部顧客への売上高	14,601,389	3,320,269	1,421,343	773,393	20,116,395	—	20,116,395
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,491	18,453	9,000	28,944	△28,944	—
計	14,601,389	3,321,760	1,439,796	782,393	20,145,340	△28,944	20,116,395
セグメント利益又は損 失(△)	728,337	245,598	△36,284	584,231	1,521,882	△969,394	552,488

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△969,394千円は、内部取引にかかわる調整額△9,112千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△960,281千円であります。全社費用は、当社の本社部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3 その他の収益は、「リース取引に関する会計基準」の範囲に含まれる不動産賃貸収入等であります。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「電子部材・フォトマスク事業」セグメント及び各報告セグメントに配分していない全社資産セグメントにおいて、将来の回収可能性を検討した結果、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては「電子部材・フォトマスク事業」セグメントにて149,663千円、各報告セグメントに配分していない全社資産にて75千円であります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年12月1日 至 2025年8月31日)
減価償却費	1,218,029千円	1,363,710千円
のれんの償却額	52,858千円	39,367千円